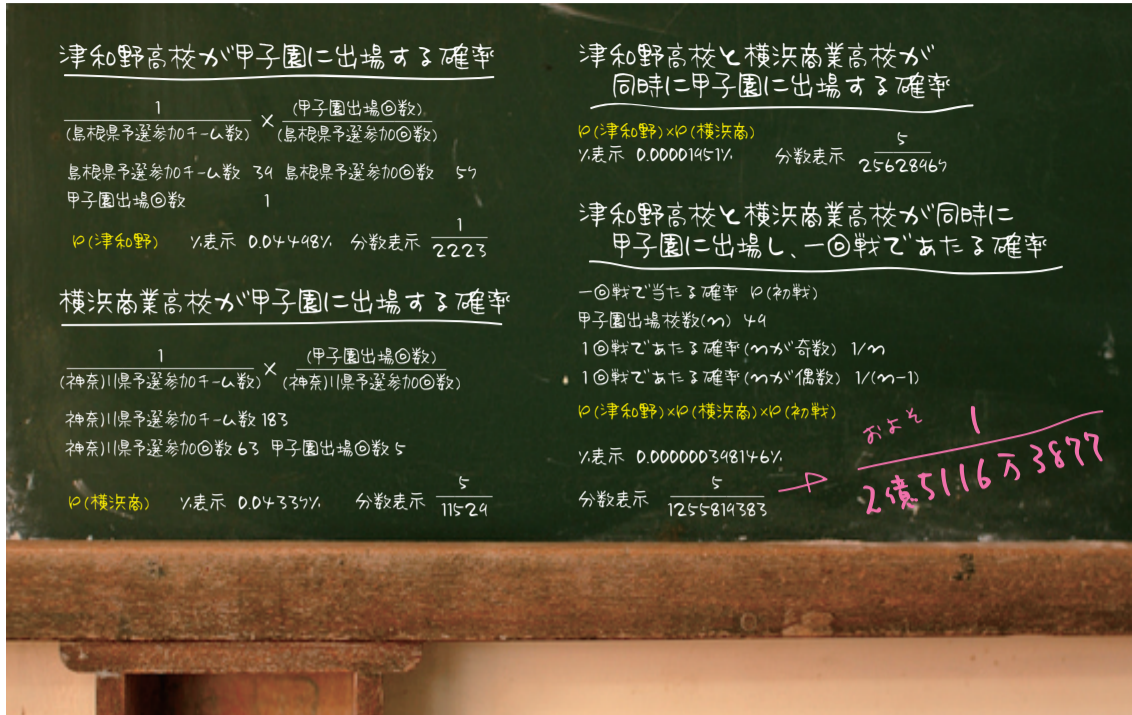


初甲子園で、相手校の校歌の作詞者が自校の前身出身である確率を科学する？

夏の甲子園(全国高校野球選手権)1990(平成2)年、第72回大会の一回戦、津和野高等学校と、森鷗外が校歌を作詞した横浜立横浜商業高等学校(通称Y高)が対戦する確率は... この思ってもみない切り口から、その確率解明に挑戦したのが、岡山県の高梁市立成羽中学校に数学の先生としてお勤めの長嶺翔太さん(H16年度卒:笹山)です。



先生が愛した 運命の対戦数式

森鷗外生誕150周年記念運動企画

Science

県外生徒の手記

津高では生徒獲得のため、広く全国に情報を発信。それが功を奏してか今年度は遠く大阪と九州からの入学がありました。彼らの目には津和野はどう映っているのか、また志願の動機などを綴ってもらいました。

1年1組 湯口 香烈 1年2組 岡崎 后咲

この街に来るまで知らなかったのですが、津和野は森鷗外生誕の地です。自分が生活している町から、日本でも、世界でも、名を知られている人間が育ったということとを私はとても誇りに思っています。そして、そのような町で勉強していることにとても感謝をしています。

Note

Report

総会懇親会 開催さる



2011年8月13日、津和野町コミュニティセンター大集会室にて平成23年度の総会が行われ、約60名の津高卒業生が集いました。

そして恒例の「校歌三部作」の熱唱へ。女学校、旧制中学、現高校と百余年の歴史ある学校ならではの風景です。



今回の総会・懇親会のポスターに使われたのが1972年6月発行の「主婦の友」で掲載されたアンノ族時代の森鷗外生家での写真、二人乗り自転車に乗ったウルトラマンの女性隊員、とのこと。なお使用にあたっては主婦の友社様に快諾を頂きました。

支部会便り from TOKYO

東京支部会長 青木勤さんに聞く

◆本日はよろしくお願ひします。最近の東京支部の様子はいかがですか? 昨年の10月8日(第2土曜日)に支部の総会を開催しました。会場を東京の原宿にあるイタリアンレストラン「トラットリアベニレベニレ」のワンフロアを借り切って、盛大に行いました。若者にも大人気のすごく開放的な場所です。若く、若い会員さんにはすごく評判も良く、ホッとしました。

Interview

昭和28年津和野高等学校卒業 喜寿記念同級会

世話人 中村康徳 中田多恵子 山田和江 齋藤 護

津和野高等学校卒業生の皆様、お元気ですか。私達4期生は、卒業から59年経った昨年度、「喜寿」を迎えました。そこで、広島在住の4人が世話人となって、広島県市の「国民宿舎野呂高原ロッジ」で喜寿記念同級会を開催しました。



車や工場の組み立てラインを見学しました。全員の集合写真は、連絡頂いた方々に送りました。また、不参加の方を含めて何人かの方が、多額の寄付をして頂き、採算が取れました。ご協力頂いた皆様に厚くお礼を申し上げます。